

第8期介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値													全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の検証・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
				自保険者			都道府県平均			全国平均			比較地域							
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30					
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	16.1	16.2	16.0	18.3	18.3	18.5	18.0	18.0	18.3	15.0	15.5	16.0	①いずれの指標においても、H29からH30にかけて減少し、調整率認定率は全国・県・比較地域を下回った。②国・県と比較して特に調整率認定率が高い。	①H30の認定率の減少については、同年度から認定調査を直営化し、不要不急の認定申請(介護保険サービスを要する旨の申請)については必要の無無を丁寧に聞き取り、真に必要な認定申請を優先した結果ではないか。②H29から事業開始した総合事業がH30は軌道に乗り、一般介護予防等の取り組みもより積極的に進められた結果、重度化防止が図られたのではないかと考えられる。	①基本チェックリストによる事業対象者の判定を受けた人数の推移との比較。②一般介護予防、例えばいきいき百歳体操等の集いの場の利用者について、経年的な健康状態のモニタリングの実施。	①不要不急の要介護認定申請は、今後必要となるを見極める必要に、必要な人に迅速に適切な認定調査を実施できる体制を整備する。 ②すべての集いの場での利用者ごとのモニタリング記録の実施。また、モニタリング項目の統一による全体的な傾向の把握。	
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(各年度年報)	16.9	17.3	15.9	17.5	17.2	17.0	17.5	17.2	17.1	17.3	17.2	17.1					
調整済み重度認定率(要介護3～5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(各年度年報)	4.9	5.0	4.3	6.2	6.2	6.0	6.0	5.9	5.8	5.9	5.9	5.8					
調整済み軽度認定率(要支援1～要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)(各年度年報)	12.0	12.3	11.6	11.3	11.1	11.0	11.5	11.3	11.3	11.4	11.4	11.3					
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	2.7	2.7	2.6	3.2	3.2	3.2	2.8	2.8	2.8	2.0	2.1	2.1	施設サービス・在宅サービスについては、県平均を下回るもののほぼ全国平均並みである。居住系サービスの県・県・比較地域を下回る。	居住系サービスが少ない原因は特定施設入所者生活介護が市内1事業所のみであり、地域密着型施設入所者生活介護については指定を行っておらず、事業所が存在しないことに原因があると考える。	居住系サービス利用率の比較。	本市は「住み慣れた場所で健康で自分らしく暮らせるまち」を理念として掲げており、在宅サービスの充実を優先事項として考えている。特定施設入所者生活介護の事業所を増やすことが充実した在宅生活を送ることにつながることは考えていないため、現状維持とする。	
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	0.4	0.4	0.5	0.9	0.9	0.9	1.2	1.3	1.3	0.8	0.9	0.9					
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	9.7	8.9	9.0	10.5	10.1	10.3	9.9	9.6	9.8	8.6	8.8	9.2					
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	114,613	120,302	119,526	126,128	129,889	129,974	125,301	128,185	128,900	130,818	130,984	130,369					
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	110,277	115,826	114,559	118,993	122,580	122,545	114,918	117,519	118,093	123,979	123,644	122,960					
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	53,943	66,601	70,283	59,606	64,911	66,497	61,591	67,103	68,976	92,075	95,391	96,960	県・全国平均と比較して伸び幅が大きいものの、比較都市を下回る。	居住系サービスは前述のとおりだが、在宅サービスは軽度認定率の高さが給付月額を押し下げている可能性がある。地域資源の不足でサービス利用量が伸び悩んでいる可能性がある。	居住系サービスは前述のとおりだが、在宅サービスは軽度認定率の高さが給付月額を押し下げている可能性がある。地域資源の不足でサービス利用量が伸び悩んでいる可能性がある。	居住系サービスは前述のとおりだが、在宅サービスは軽度認定率の高さが給付月額を押し下げている可能性がある。地域資源の不足でサービス利用量が伸び悩んでいる可能性がある。	
受給者1人あたり利用回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	18.4	25.0	26.9	21.9	24.6	25.1	20.9	23.6	24.0	32.2	33.8	34.9					
受給者1人あたり給付月額(訪問入浴介護)	D17-b	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	62,685	63,175	62,804	58,850	60,156	60,902	60,565	61,422	61,972	61,844	62,904	61,709	県・全国平均等と比較して、大きな差は見られない。				
受給者1人あたり利用回数(訪問入浴介護)	D31-b	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	5.2	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	5.3	5.2					
受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	D17-c	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	42,496	42,067	42,644	41,198	40,555	40,004	40,617	40,770	40,525	47,142	47,412	47,279	受給者1人あたりの利用回数・回数は県・全国平均並みだが、1人あたりの給付月額が県・全国平均より多い。	県・全国平均よりも提供時間が長く、加算が多いのではないかと考える。			
受給者1人あたり利用回数(訪問看護)	D31-c	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	8.4	8.4	8.6	8.7	8.7	8.7	8.6	8.7	8.7	11.3	11.6	11.6					
受給者1人あたり給付月額(訪問リハ)	D17-d	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	31,907	30,142	29,463	32,181	31,857	31,718	33,065	33,103	33,257	29,923	29,583	30,953	利用回数・回数は県・全国平均と比較してやや少ないが、比較地域と同程度である。	訪問系サービスの中では事業所数も少なく、選ばれにくいサービスになっているのではないかと考える。また、通所リハにリハビリ専門職の人的資源と利用者が流れているのではないかと考える。			
受給者1人あたり利用回数(訪問リハ)	D31-d	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	11.0	10.4	10.3	11.2	11.2	11.1	11.3	11.4	11.4	10.6	10.7	11.0					
受給者1人あたり給付月額(在宅療養管理指導)	D17-e	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	8,093	8,641	9,353	7,551	7,968	8,184	11,539	11,757	11,950	11,185	11,422	11,664	県平均より多いが、全国・比較地域より少ない。	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅以外で生活する人の利用が少ないのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	71,891	90,725	91,750	80,323	88,977	90,436	74,021	80,623	81,708	83,538	80,434	82,179	県・全国平均・比較都市とも伸び幅が大きく、令和元年度には全てを上回っている。	利用回数・回数が増加していることから、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅利用者が併設の通所介護事業所を利用する傾向が強まったのではないかと考える。			
受給者1人あたり利用回数(通所介護)	D31-e	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	8.9	12.7	12.9	9.9	11.7	11.9	9.2	10.6	10.7	10.4	10.3	10.5	比較都市より給付月額、利用回数・回数が多いが、県・全国平均と比較するとやや少ない。	また、通所介護の増加とともに通所リハの利用者が通所介護に流れていないかと考える。利用者だけでなく、人的資源(リハビリ専門職)も通所介護に流れているのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	101,126	101,659	102,042	103,023	104,655	106,420	93,708	94,811	96,210	94,157	97,241	94,097	県平均とは差が見られないが、全国平均と比較都市を上回る。	いよつとロングショート(短期入所の長期利用)が他地域に比べて多いのではないかと、その多くが、特養の多床室の空きを待って低所得者層ではないかと考える。			
受給者1人あたり利用回数(短期入所生活介護)	D31-g	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	12.3	12.5	12.7	12.9	13.0	13.2	11.5	11.6	11.7	11.3	11.4	10.9					
受給者1人あたり給付月額(短期入所療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	86,477	79,616	82,989	84,574	84,568	86,729	83,625	84,906	85,797	88,302	85,614	81,073	県・全国平均等と比較して、大きな差は見られない。				
受給者1人あたり利用回数(短期入所療養介護)	D31-h	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	8.3	7.4	7.6	8.0	7.8	7.9	7.9	7.9	7.8	8.4	7.9	7.3					
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	11,133	10,847	10,501	11,155	11,091	10,917	11,651	11,564	11,483	11,527	11,364	11,185					
受給者1人あたり給付月額(特定施設入居者生活介護)	D17-k	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	173,601	165,161	165,194	168,068	169,520	172,281	174,723	174,931	176,483	172,203	171,290	171,609	全国平均・比較都市より令和元年度は安くなっている。	利用者の軽度化が進んでいるのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	D17-l	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	10,678	11,470	11,292	12,507	13,041	12,951	12,135	12,647	12,673	12,334	12,536	12,600	全国平均等と比較して少ない。	認定率の低下が影響しているのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問看護介護)	D17-m	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	159,414	179,482	191,637	128,445	136,348	134,394	151,052	151,090	153,667	141,606	150,667	166,620	県・全国平均・比較地域に比べて伸び幅が大きい。	重度者の利用率が高いのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	0	0	0	15,054	15,452	16,957	34,522	34,120	35,927	0	0	0					
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	120,569	117,148	110,055	115,610	113,738	112,124	113,293	113,354	114,241	154,675	155,196	136,286	県・全国平均等と比較して、大きな差は見られない。				
受給者1人あたり利用回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	11.3	11.1	11.2	10.8	10.8	10.9	10.7	10.7	10.7	13.4	13.2	11.9					
受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	151,424	166,722	159,469	172,689	175,162	174,107	179,421	180,054	181,840	198,149	186,259	196,614	県・全国平均・比較地域に比べて少ない。	利用者のうち軽度者の占める割合が他地域に比べて多いのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	242,230	244,760	249,822	246,350	247,750	250,643	249,222	250,256	253,186	247,465	249,741	253,934	県・全国平均等に比べ、大きな差は見られない。				
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	D17-r	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	0	0	0	198,331	196,586	195,169	190,973	191,225	192,308	0	0	0					
受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	186,041	182,140	190,608	209,777	206,774	216,992	236,649	241,355	245,977	0	0	292,624	県・全国平均・比較地域に比べて少ない。	利用者のうち軽度者の占める割合が他地域に比べて多いのではないかと考える。			
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	81,624	80,050	81,177	81,495	81,458	81,242	74,674	73,908	73,822	75,009	74,216	71,658	給付月額、利用回数・回数ともに県・全国平均・比較地域より多くなっている。	利用回数・回数が増加していることから、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅利用者や併設の通所介護事業所を利用する傾向が強まったのではないかと考える。			
受給者1人あたり利用回数(地域密着型通所介護)	D31-j	回	見える化・時系列(H29及びH30は年報、R1はR2/2サービス提供分まで)	11.4	11.5	11.9	10.5	10.5	10.5	9.6	9.5	9.5	10.0	9.9	9.6					

都道府県名／保険者名 三重県 四日市市